

もんじゅ廃炉で開ける未来



2016年もんじゅが廃炉になりました。
もんじゅは事業費**1兆2000億円**を使い、1995年ナトリウム火災事故以後22年間停止。停止中も1日当たり**6400万円**のお金を使い、年233億円をドブ捨てしてきました。

何の役にも立たず、国民負担を増やし税金を使いまくる**原子力産業の象徴的存在**です。廃炉に**30年以上の歳月と3000億円以上の費用**がかり、動いても停止しても廃炉になっても国民に負担をかける**大迷惑施設!**
 この大迷惑施設が廃炉になったのには理由があります。**時代がもんじゅを廃炉に**しました。

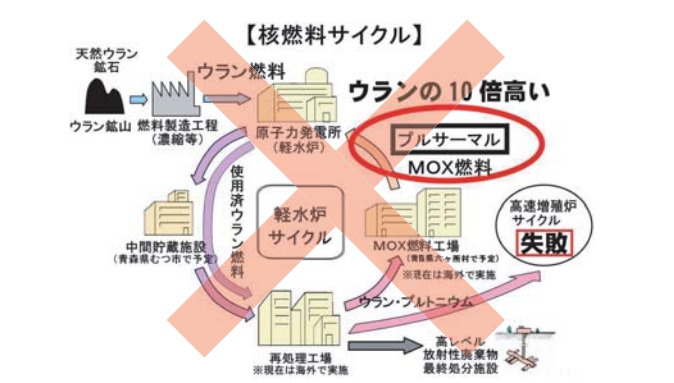
日本はすでに脱原発社会

原発は福島事故以後、**稼働率実質ゼロ**です。



空想の核燃サイクル

もんじゅ廃炉でプルトニウムを使う原発はなくなり、プルトニウムはいりません。プルトニウムを作る再処理工場もありません。再処理は直接処分何倍も高くつき、放射能を大量にまき散らします。



核燃サイクルは一度も動いたことはなく空想です。 プルトニウムは使い道がなく、増えれば世界中から核武装非難を浴びるのでウラン燃料の10倍以上高いMOX燃料に混ぜて無理に使っているありさまです。

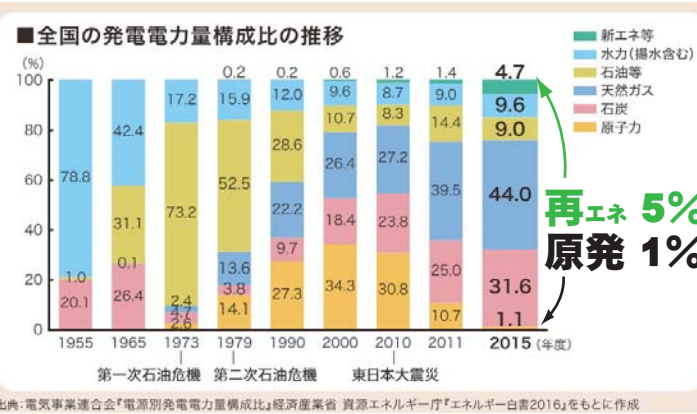
プルサーマルの燃料費は**ウラン25万9千円/kg**、**MOX356万8千円/kg**、MOX燃料を使うことは1L=100円のレギュラーガソリンを1L=1000円の高価ガソリンにして車を走らせるようなものです。MOX燃料で発電すれば電気代は暴騰します。

プルサーマルなどアホの極みです。 核燃サイクルの空想で12兆円もドブ捨てして、減らさなければ困るプルトニウムを作るより、高レベル廃棄物の最終処分地を決め処理するのが先です。**原子カムの誰かが核のゴミを10万年管理するのでしょうか？** 原子力推進派は**未来の世代への責任を果たして下さい。**

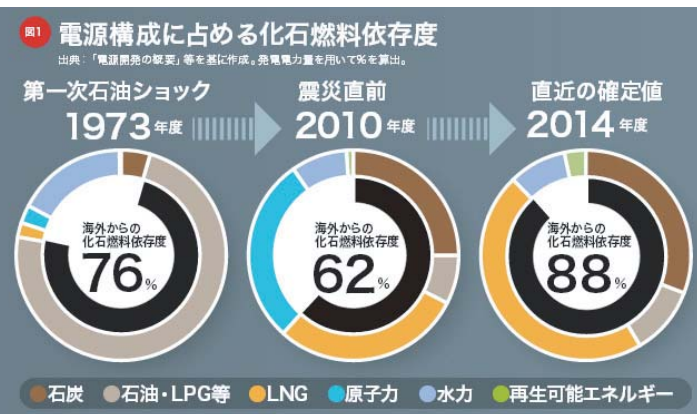
核燃サイクルの空想に金を使うより**現実に核のゴミを処理して下さい。**

日本の発電電力量構成比

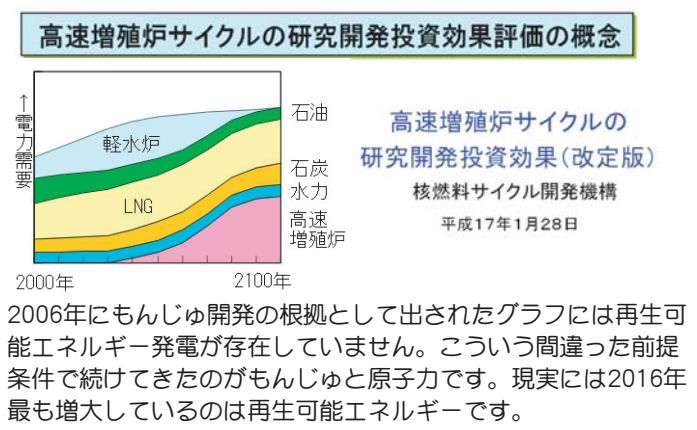
原子力が消え、再生可能エネルギーが増大



化石燃料は石油から天然ガス (LNG) へ移行



もんじゅの計画予想では再エネはゼロだった



電力会社の売電量が減少



上の電事連作成2016電源構成比グラフから**売電量総合計が減っている**のがわかります。2012年以降、電力会社の売電量は毎年減少。これには3つの要因があり、売電量は今後も減り続け将来電力会社は倒産消滅するでしょう。原発推進の悪が滅びる時代が来ています。

売電量が減る3つの要因

- ①**自家発電の普及** 太陽光発電の普及など
- ②**省エネ器具の進化** 照明のLED化など
- ③**少子高齢化と人口減** 日本は2016年人口純減へ

未来は電力消費が増大せず減少!

日本は21世紀に入って銀行金利がゼロに近づき、2015年、マイナス金利になりました。銀行金利は経済成長率と関係があり、日本は消費も成長率も止まっています。現在消費が活発なのは外国人観光客だけで、日本人は給料が下がり、税金年金保険負担が増え、貯金が減り、人口の減少と高齢化により、消費は縮小する一方です。

さらに日本の電気代は発電原価が最も高い原発を無理に推進しているため高くなり、増え続ける原発税がさらに電気代を押し上げています。高い電気代は**電気を買うより自家発電へ人々を誘導し、今後この流れが加速していきます。** 22世紀に向けて電気は買う時代から自分で作る時代に移行していきます。

原発の出番はありません。

もんじゅから学ぶ失敗する事業の特徴

- 1. 見積もりがデタラメ**
 もんじゅの建設費は当初見積もり360億円、建設完了時5,900億円、見積もりの17倍。360万円の家を建てますと契約して、完了時に5900万円請求されたら、支払いますか？見積もりがデタラメな事業は失敗します。
- 2. 完成期日が延び完成しない**
 もんじゅは20世紀に完成予定でしたが事故で停止期日は50年延びましたが完成せず廃炉。六ヶ所再処理工場も23回延期され未完のままです。
- 3. 失敗の責任を取らない**
 もんじゅの1兆円ドブ捨ても福島事故も核燃サイクルの失敗も誰も責任を取りません。悪いことをしても誰も責任を取らない事業は失敗します。

原子カムの事業は見積もりの何十倍にも費用が膨れあがるのが常識。福島廃炉費用も当初2兆円、今18兆円です。もんじゅの廃炉費用も見積もり3000億円ですが実際は10兆円??かもしれません。

以上1, 2, 3に当てはまり第2のもんじゅと言われるのがリアモーターカーです。東京大阪間を1時間短縮するだけのために、日本アルプスをトンネルでぶち抜くという自然をなめきった計画をたて工期も20年以上、予算は10兆円以上。省エネの時代に電気消費量は新幹線の5倍以上。**リアモーターカー**は間違いなく、もんじゅの二の舞となり**失敗**します。

ザル見積・完成せず・必ず失敗
つけは全部国民負担(税金)
原子カムラ栄えて日本滅ぶ

環境省の犯罪

セシウム8000Bq/kg以下を一般ゴミ化して日本中を放射能汚染する環境省。福島原発震災事故以後、大量の放射能がばらまかれ大量の放射性廃棄物が貯まっています。原子力推進派は放射能の除去、消滅(不可能)にも失敗し、5年たった現在も福島原発からは大量の放射能が放出されています。放射能汚染は生き物全体への犯罪行為です。原子力推進派は福島原発事故の責任を取らず、それらを隠蔽するため、放射能安全神話をでっちあげ、**セシウム8000Bq/kg**以下の放射性廃棄物を一般ゴミとして全国で焼却またはリサイクルしています。従来の法律では**セシウム100Bq/kg**以上は厳重な管理を必要とする放射性廃棄物になります。**環境省のやっていることは放射能で日本中の命を危険にさらす取り返しのつかない犯罪です。**

チェルノブイリで住民の内部被ばくを調査したバンダジェフスキー博士の警告

「日本の医師は原発事故との関係を否定するのではなく、誠実に対応すべきだ」
 「チェルノブイリよりペースが非常に早く、深刻な事態だ」
 *チェルノブイリ事故後のゴメリ州住民の突然死の99%に心筋不調があった。持続性の心臓血管病では、心臓域のセシウム137の濃度は高く、136±33.1Bq/kgとなっていた。
 *ミンスクの子供は20Bq/kg以上のセシウム137濃度を持ち、85%が心電図に病理変化を記録している。
 *平均40-60Bq/kgのセシウムは、心筋の微細な構造変化をもたらすことができ、全細胞の10-40%が代謝不全となり、規則的収縮ができなくなる。
 *動物の体内の100-150Bq/kgのセシウムはさらなる重大な心筋変化、すなわち、拡散する心筋は損傷、リンパ細胞とマクロファージの病巣浸潤物および血管多血が認められた。
 *900-1000Bq/kgのセシウム蓄積は40%以上の動物の死を招いた。

守銭奴=原子カムラと 違う生き方しよう

幸福とはお金を稼ぎ、大量の物を買ひ、大きな家と、大きな車に乗って大量のエネルギーを使うこと。豊かさとは速く移動し、ただひたすらお金を増やすこと。守銭奴=原子力推進派の生き方。

明日は今日より成長し、エネルギー消費は増え続け、原発なければ停電と原子カムラの詐欺師が脅迫する。原発が再稼働しなければ赤字になる、経済が悪くなる、原発の地元住民がテレビで語る。金・金・金！原発と言えば金の話。

日本の実質GDPは1997年から2015年まで1人当たり年0.6%。銀行金利は実質ゼロ、今はマイナス金利。

明日は今日より縮小する時代。

単身高齢者と結婚しない単身世帯に
大きな家は寒くて**不便！でいらぬ**
小さい家に大量の物も**邪魔！でいらぬ**
人間が移動するのに**1tの車はいらぬ**
移動は自転車でしょ。

2016年少子高齢化で日本の人口は減った。こんな時代に500kmで走る

リアモーターカーいらぬか？

東京大阪を1時間で走るより
自転車で1日で安全に走れる
東海道自転車道が今、必要でしょ。

エネルギーを使わなくても お金を稼がなくても

原子カムラのような守銭奴にならなくても
自転車みたいに環境にやさしく、人間の身体を健康に維持して、ゆっくり豊かに暮らしましょう。

原発推進関電を倒せ！

悪

関西電力

年間売上3兆4千億円
年間売電1345億kWh
売電供給2000万kw

関電の力の源泉は年間3兆円の売電収入です。原発を止めるには原発推進電力会社の売電収入を1円でも減らす発電節電レジスタンスしかありません。

レジスタンスのやり方

- 1. 関電から電気を買わない**
→関西電力以外の新電力会社から買う
- 2. 関電から買う量を減らす**
→節電器具を使い・暖房、炊事、給湯などは電気以外のエネルギーを使う
- 3. 自家発電で電気を買わずに売る**
→自分が消費する以上の電気を発電し他に売る。電気の地産地消
電力会社から電気を買おうと原発税で

大損 原子カムラに上納
原発事故
廃炉費用
国民負担
します。

日本の電気代を押し上げる原発上納金
原発税 **電気代**

- 毎月支払っている電気代の中に隠された原発税
1. 電源開発促進税 100kwあたり37.5円 1世帯400円位
 2. 再処理積立金 電促税+α 1世帯400円位
 3. 事故賠償金&原発廃炉費用**18兆円** (2016年現在)

自家発電しよう

原子カムラにお金を渡さないため、電気を自家発電して電気代を下げましょう。

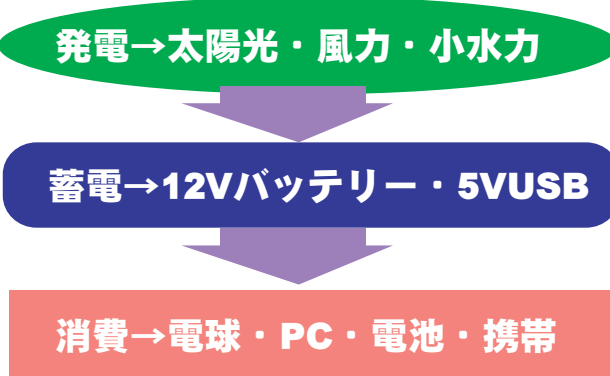
自家発電生活の奥義

①直流で発電し直流で動かす
太陽光発電など分散型発電は直流で発電します。また、それらを蓄電するバッテリーも直流です。しかし日本の家には交流100vコンセントが設置され家電製品は全て交流で動いています。今までの交流生活を見切りましょう。
☆直流から交流への変換もしません。
直流で発電し直流家電製品で生活します。
すぐに全ての家電を直流へ置き換えはできません。できるところから少しずつ交流を直流へ置き換えればいいです。交流=原子カムラ、原子カムラと少しずつ縁を切っていきましょう。

②直流コンセントを家に作ろう。
従来の交流100vとは違う、直流コンセントを家の中に作ります。現在お薦めできるのは2つ

USB 5V DC 12Vplug 外5.5 内2.1mm
DCプラグ12V 外5.5 内2.1mm
USB 5V 現在の直流家電品は5Vと12Vが多く、この2つが一番使いやすいです。

③発電→蓄電→消費サイクル



しがエネルギービジョン

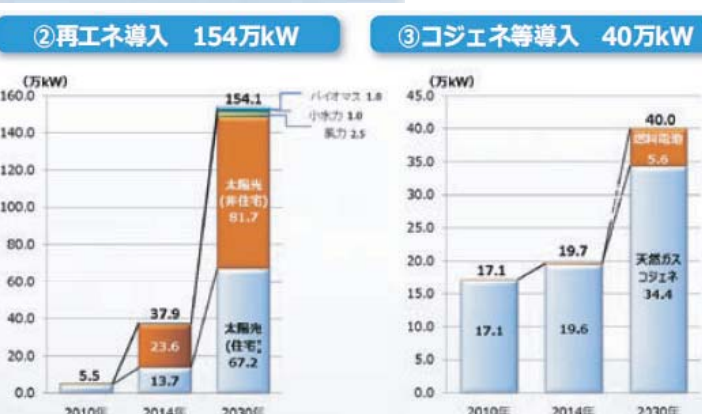
～原発に依存しない新しいエネルギー社会の実現に向けて～

- エネルギーを『減らす』**
省エネ行動の実践や、省エネ性能が高い機器の使用、住宅や建物の省エネルギー性能を高めるなど、省エネルギー・節電を推進
- エネルギーを『創る』**
太陽光、小水力、バイオマスなど再生可能エネルギーを家庭や事業所、地域等で導入促進
- エネルギーを『賢く使う』**
天然ガスコージェネレーションや蓄電池の普及、地域内でエネルギーを融通するスマートコミュニティの構築など、エネルギーの効率的な活用を推進
- 3つの取組を『支える』**
本県に集積するエネルギー関連産業の振興や、産学官によるエネルギー関連の技術開発を促進

滋賀県は福島事故以後、分散型発電を推進し、2010年に原発から供給されていた電力量相当分を2016年県内で発電し供給しています

電力供給量の内訳

- 分散型電源(県内で供給される電源) 【構成比 31.1%】
→再生可能エネルギー(15.6%)
→コジェネ・燃料電池(15.5%)
- 大規模電源(県外から供給される電源) 【構成比:68.9%】
※36%減(2010年比)
⇒ 東日本大震災前の原発由来の電力量相当分を省エネと分散型電源で確保



関電から電気を買わずに売らしよう。

My発電キット



18V 20W 太陽光発電ノート ¥7199 (amazon価格)
出力2系統:USBポート5V、DCポート18V
★USB5VとDC12V出力のあるタイプを選択!
単3・単4電池充電器(8本タイプ) 放電&充電残量表示機能付エネルギー対応 ¥ 2440



HITACHI 国産車バッテリー 40B19L ¥2770
10000mAh モバイルバッテリー ¥1500
電球形 USB LEDライト ¥800
ソーラー充電式LEDライト(門灯) 1個¥1000
充電時間は家庭用AC100Vより直流→直流で充電した方が速く充電されます。ノートパソコン、エネルギー電池、自動車バッテリー、モバイルバッテリーの充電はこのくらいのノート太陽光発電で十分できます。我が家の電気代は月1000円↓ 原子カムラに渡すお金を1円でも減らそう。

28年11月分 使用期間 10月20日～11月17日
ご契約内容 従量電灯A 請求金額 1,160円
ご使用量 56kWh

あなたも自家発電レジスタンス
やりませんか?

原発のない未来のために

省エネ

電球60W→蛍光灯12W→LED4W
←バッテリー内蔵LEDライト
USB充電直流5V太陽光で充電
直流電源生活しましょう。

Ⅲ. 重点政策編(2016年～2020年)

8つの「重点プロジェクト」	
基本方針(4つの柱)	8つの重点プロジェクト
● エネルギーを『減らす』 《省エネルギー・節電の推進》	(1)省エネルギー・節電推進プロジェクト ・省エネ型LED照明、省エネ機器使用等
● エネルギーを『創る』 《再生可能エネルギーの導入促進》	(2)再生可能エネルギー総合推進プロジェクト ・太陽光発電、再生可能エネルギー熱
● エネルギーを『賢く使う』 《エネルギーの効率的な活用の推進》	(3)小水力利用促進プロジェクト ・農山村地域における小水力発電等
● 3つの取組を『支える』 《エネルギー関連産業の振興、技術開発の促進》	(4)バイオマス利用促進プロジェクト ・木質バイオマスや廃棄物のエネルギー利用
	(5)エネルギー自治推進プロジェクト ・地域の取組推進、災害対応強化
	(6)エネルギー高度利用推進プロジェクト ・天然ガスコージェネ、燃料電池、次世代自動車
	(7)スマートコミュニティ推進プロジェクト ・地域の実状に応じたスマートコミュニティ構築
	(8)産業振興・技術開発促進プロジェクト ・産学官連携によるエネ関連技術開発等



製作・文責 大津いつお (ストップ・ザ・もんじゅ)
2016年12月 大阪府枚方市川原町1-5 tel:072-843-1904